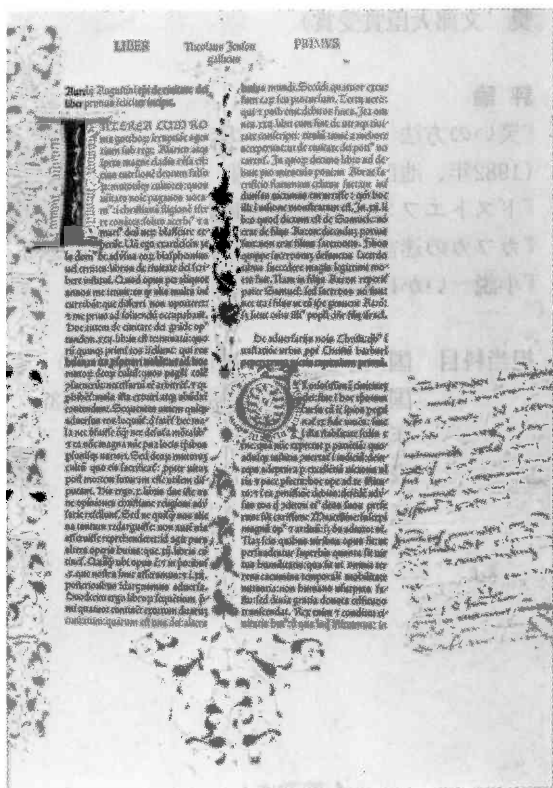


アウグスティヌス『神の国』

(ストラズブルク、ヨハン・メンテリン印刷、1468年以前)

早稲田大学文学部教員図書室 雪 嶋 宏 一



あり、天理大学、明星大学、慶応義塾大学のコレクションに次ぐ規模である。23点のうち15点がイタリア、6点がドイツ語圏、1点がフランス、残り1点がオランダで印刷されたものである。最も古いものは1468年以前にストラズブルクでヨハン・メンテリン (Mentelin, Johann, 1410-78) によって印刷されたアウグスティヌス『神の国』(GW 2883) であり、最後はパリのティルマン・ケルヴェ (Kerver, Thielmann) が1500年4月10日に印刷した『ローマ式時禱書 (Heures à l'usage de Rome)』(ヴェラム版) (HC 8860) である。これらの中で印刷文化史上特に興味深い書物であるアウグスティヌス『神の国』(GW 2883) を本稿で紹介しよう。⁽²⁾

北アフリカの都市ヒッポの司教アウグスティヌス (Augustinus, Aurelius, 354-430) の主著『神の国』(De civitate dei)』はキリスト教神学上最も重要な文献の一つであり、我が国でも翻訳がなされつとに知られている。ローマ帝国末期の大混乱の最中、神の国と地の国を対比して、異教の信仰を論難しキリスト教護教論を展開する。そして、旧約聖書に基づく人間の歴史を述べ、神の国の終末を説いて締め括る。中世最初の歴史哲学であると言われている。

本書のラテン語版テキストが初めて活版印刷されたのは1467年6月12日、ローマ近郊スピアコのベネディクト派修道院においてで

近畿大学中央図書館には23点のインキュナブラ (揺籃期本) が所蔵されている (零葉は除く)。現在我が国の図書館には約 250点のインキュナブラが所蔵されていると推定されるため、⁽¹⁾23点のコレクションはその1割弱で

あった。印刷者は、マイnitzのヨハン・フスト (Fust, Johann, d.1466) の弟子でイタリアに印刷術をもたらしたコンラト・スヴェインハイム (Sweynheym, Konrad, d.1477) とアルノルト・パンナルツ (Pannartz, Arnold, d.1476) である (GW 2874)。彼らはまもなく工房をローマへ移して、第2版 (GW 2875) を1468年、第3版 (GW 2876) を1470年に刊行している。こうしてラテン語版は15世紀中に9版 (いずれもイタリアで印刷) を数えた。⁽³⁾

本稿で紹介するアウグスティヌス『神の国』はこれらとは異なる注解付きラテン語版の初版である。注解は、ウェールズ出身といわれるドミニコ派神学者トマス (Waleys or Wallensis, Thomas, d.1350?) と、イングランドの歴史家ニコラス・トリヴェット (Trivet or Trevet, Nicholas, 1258? - 1328) とによるものである。本書は15世紀中に少なくとも12版が印刷されたことが知られているが、現存するのは8版のみである。⁽⁴⁾

本書は二折判、全336葉。1 - 252葉がテキスト、253 - 326葉表第1欄までが注解、326葉表第2欄 - 335葉が Tabula、336葉が白紙である。館蔵書は最終葉を欠く。版組は2欄組、1葉の行数はテキストが47行、注解が57行である。折丁は10葉と8葉が組み合わされているが、折記号は印されていない。また、紙面の天地余白部分に1箇所づつ小さな孔が見られる。これは版面がづれないように紙を針で印刷機に固定した跡であり、最初期のインキュナブラに時々見られるものである。また、本書にはコロフォン (奥書) が記されていないため印刷事項を本書自体から明らかにすることは困難であるが、活字の研究によってメンテリンの作であることが確認される。

メンテリンは、1440年代にグーテンベルク (Gutenberg, Johann, ca.1399 - 1467/68) がストラスブルクに滞在し活版印刷術を試行錯誤していた頃になんらかの影響を受けたと思われる。やがて1458年にストラスブルクで

印刷に着手した。彼によってストラスブルクはマイnitz、バンベルクに次いで印刷開始第3番目の都市となった。彼は生涯に聖書や神学書を中心に40書を印刷している (そのうち8書は一枚刷)。⁽⁵⁾ それらの多くにはコロフォンがないため印刷事項は定かでないが、使用した活字の種類から印刷の順番がある程度推定されている。ショルバッハ (Schorbach, Karl) によれば、メンテリンが使用した活字は8種類である。⁽⁶⁾ インキュナブラ研究では活字の種類を表すのに、インテルが入らない20行の高さの平均計測値の数字とG (ゴチック)、R (ローマン) などの字体の略号との組み合わせを用いる。メンテリンの活字は編年順で、118G、92G、112G、120G、111G、93G、107G、107Rと表記される。アウグスティヌス『神の国』はテキストが112G、注解が92G、で印刷されている。印刷年を推定する重要なもうひとつの資料はルブリケイター (Rubricator: 朱を入れる職人) による記年である。これは飾文字や文頭の文字、文節記号、下線などに朱を入れた時の年号を巻末に書き加えるもので、どの印刷書にも見られるものではなく、極限られたものであり、さらにそれ自体は印刷年ではなく印刷がその年以前であるということを物語る資料である。このような書込によって92Gは1461 - 68年に使用され、112Gは1462年の記年のあるものが知られているが、おもに1471/73年に使用されたことがわかる。こうして、ショルバッハは本書をメンテリン印刷の第9書としている。⁽⁷⁾

館蔵書の状態は、紙面の寸法が392×286mm、空押しの豚革で背が装丁され、一對の金属製留金が表紙の板に装備されている。文頭の大文字は朱あるいは青で書き入れられ、文節記号、イニシャル・ストローク、下線に朱が入れられている。そして、館蔵書を印刷文化史上興味深いものにする書込がルブリケイターによって巻末の335葉裏に3行にわたって行なわれている。朱字で 'Iste liber est conventus virgine || (判読不能) || anno

dñe MCCCC 6 (?) 8° と記され、1468年に朱を入れたことが明らかにされている。因みに、本書の印刷が1468年以前とされる根拠は、マンチェスター大学ジョン・ライランズ図書館に所蔵されるスペンサー・コレクションの同書に見られる 'Illuminator huius libri fuit Johannes Bamler de Augusta, anno CCCC Sexagesimo octauo' という書込である。すなわち、アウグスブルク出身のヨハン・ベームラーが [1]468年に朱を入れたという。また、コペンハーゲン王立図書館所蔵書には1469年の購入メモと、ヨハン・ライヘンバッハ (Reichenbach, Johann) によって1470年に装丁が施されたことが記され、印刷年の傍証となっている⁽⁶⁾。つまり、館蔵書はジョン・ライランズ図書館本と共に1468年以前の印刷を証明する第一級資料なのである。

この事実は今初めて明らかにされたわけではない。実は、旧蔵者クリフォード・ラッティー (Ratley, Clifford) が1950年5月26日付の書簡で大英博物館の L.A. シェパード (Sheppard) に報告している。ラッティーはイギリス南西部デヴォンシャーの小都市トークエイの書物収集家であった。館蔵書にはその時のシェパードからの礼状 (1950年5月29日付) が添付されている。シェパードはこの情報を大英博物館所蔵インキュナブラ目録の該当箇所に書き加えた。1963年刊行の同目録のファクシミリ版に 'Copy in possession of C.C. Ratley, Torquay, May 19 50, has rubricator's date : MCCCC 68°' という書込が見られる (BMC I, p.52)。館蔵書はまさにこの 'Copy' である。また、館蔵書にはロードアイランド州のアンマリー・ブラウン記念図書館からの1950年6月13日付の書簡とラッティー自身の作成した詳細な書誌ノートが添付されている。前者によれば、ラッティーはこの本を入手したばかりで、この書込についていち早く英国博物館に知らせたことが理解できる。ラッティーはこれについてばかりでなく恐らく当時入手した Ci-

cero, *De finibus bonorum et malorum* (GW 6886) についても問い合せていた。

ところで、我が国には奇しくもラッティーの旧蔵書が管見の限りもう一書、しかもメンテリン印刷書が所蔵されている。明星大学児玉記念図書館が所蔵するヴァンサン・ド・ボーヴェ (Vincent de Beauvais, or Vincentius Bellovacensis, c.1190-c.1264)『歴史の鏡 (*Speculum historiale*)』(メンテリン、1473年)(C 6246) 4巻本がそれである。本書にもやはり L.A. シェパードからの2通の返書とラッティー自身による詳細な書誌ノートが添付されている。1952年7月5日付の返書によれば、ラッティーはシェパードに BMC による本書の折丁表記が不正確であることを指摘している。つまり、第3巻の aa⁸ と ii⁸⁺² とはラッティー蔵書では aa¹⁰ と ii¹⁰ であり、第3巻は202葉、従って全4巻では790葉ではなく792葉であることが確認されるという。シェパードは、大英博物館所蔵の第3巻は1-3葉が欠けているためショルバッハに基づいて折記号を表記したことから、彼の誤謬がそのまま転記されてしまったことを認めている。こうして、BMC I, p.57 には '(Information supplied by C. C. Ratley from a copy in his possession. 7/52, cf. Schorbach, *Der Strassburger Frühdrucker J. Mentelin*. p.19*)' という書込が行なわれたのである。このようにラッティーは極めて注意深く書物を収集し観察していた。その結果、書誌学上のいくつかの事実が明らかにされたのである。

インキュナブラは500年という永い歴史を経て今日に伝わる人類の貴重な文化遺産である。一書一書にそれぞれの歴史があり、活字、折丁、用紙、装飾、書込、装丁などといった書物を構成する要素がその成立事情を雄弁に物語る場合がある。そのため、個々の人念な書誌学的調査が必要である。近年、我が国には上述のような貴重な書物が少なからず収蔵されるようになってきているが、専門的調査が十分行なわれているとは言い難い。今後

これらをテーマにした研究が盛んになることを願って止まない。

終わりに、貴重書の調査を許可して下さいました中央図書館と、閲覧の際に大変お世話になりました館員の皆様に末尾ながら感謝の意を表します。

注

- (1) 筆者はかつて我が国に所蔵されるインキュナブラの点数を 200 - 250 と見積もった (拙稿 'Incunabula in Waseda University Library' 『早稲田大学図書館紀要』 29号、1988、p.88)。
- (2) 筆者は、インキュナブラの全国所在調査の一環として、中央図書館の御好意のもとで1990年9月に中央図書館が所蔵するインキュナブラ全点の調査を行なった。
- (3) 第3版は明星大学児玉記念図書館が所蔵している。近畿大学中央図書館には1475年ニコラウス・ジェンソン版が所蔵されている (Venice : Nicolaus Jenson, 2 Oct. 1475 : GW 2879)。また、天理図書館にはイタリヤ語版が所蔵されている (Florence : Antonio Misco mini, not after 1483 : GW 2892)。
- (4) 一橋大学社会科学古典資料研究センターには1489/90年版が所蔵されている (Venice : Bonetus Locatellus, 18 Feb. 1489/90 : GW 2889)。
- (5) Schorbach, Karl, *Der Strassburger Frühdrucker Johann Mentelin* (1458 - 1478), Mainz, 1932, S. * 1 - * 25.
- (6) *Ibid.*, S. 47 - 61.
- (7) *Ibid.*, S. * 7.
- (8) BMC I, p.52.

略号

- BMC : British Museum, Dept. of Printed Books, *Catalogue of books printed in the XVth century now in the British Museum*, pt. 1 - 10, 12, London, 1908 - 1985 (corrected reprint of pt. 1 - 8, 1963).
- C : Copinger, W.A., *Supplement to Hain's 'Repertorium bibliographicum'*, v. 1 - 2, London, 1895 - 1902 (reprinted in 1926).
- GW : *Gesamtkatalog der Wiegendrucke*, Bd. 1 - 8, 9 (Lfg. 2), Leipzig - Berlin, 1925 - 85. (Bd. 1 - 7 reprinted in Stuttgart, 1968 ; Bd. 8, Lfg. 1 reprinted in Berlin, 1972).
- H : Hain, L.F.T., *Repertorium bibliographicum ad annum MD*, t. 1 - 2, Stuttgart, 1826 - 38 (reprinted in 1966).

